

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	農業担い手支援事業	シート番号	A 一般事務事業 15-38
担当部署名	産業振興 局 農政 部 農水産 課	評価責任者(課長名)	竹平

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け	
			施策	6	元気な農業・農空間のあるまちづくりの推進	有	
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	農業経営基盤強化促進法、大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例、堺ファーマー支援事業補助金交付要綱、堺市機構集積協力金交付要綱、堺市農業次世代人材投資事業資金交				
	4	関連計画	堺市農業振興ビジョン				
5	事業実施の経緯	農家の高齢化、兼業化が進む中、担い手となる農業者を支援するとともに新たな担い手の掘り起こしを行い、本市農業の振興と農地保全を図る。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	農業者、就農を目指す者			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	新たに就農する者を確保育成するとともに、既存農家の経営改善等を支援し、多様な担い手が農地を活用することにより、本市農業の振興を図る。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農相談窓口を設置し、就農相談者に対して助言を行うとともに、農地の紹介や補助事業による設備支援、国の交付金など、可能な支援を行うことで、安定した就農につなげる。 ・ 既存農家に対しても、研修会の開催や設備投資への支援を行う。 			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		農業者				

Ⅲ. 投入量

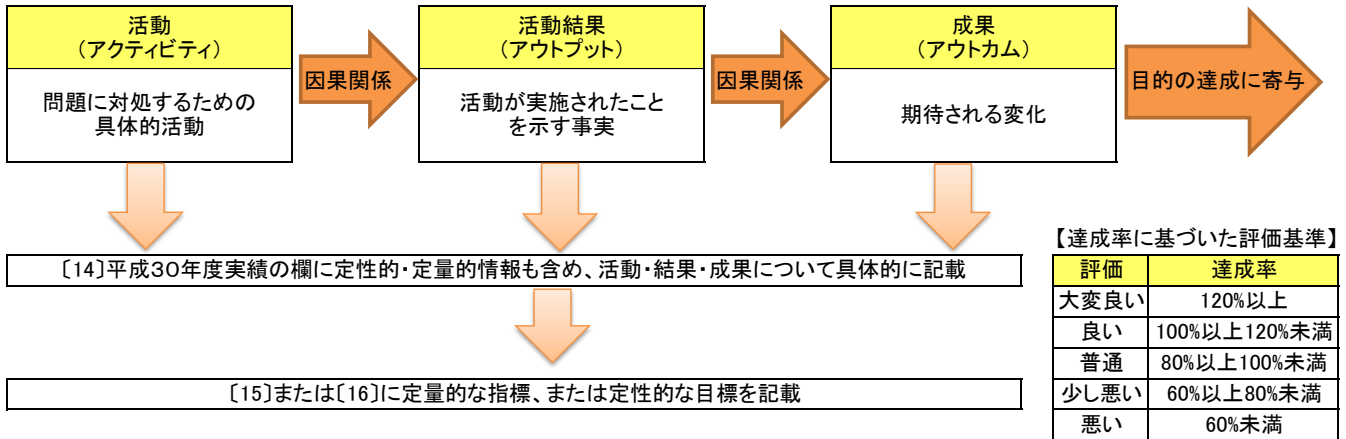
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	33,382	28,944	75,671	31,018	
	主な事業費内訳	報酬	千円	2,896	2,906	2,916	2,889
		報償費	千円	1,476	1,867	1,908	2,069
		負担金補助及び交付金	千円	28,674	23,835	70,493	25,600
		その他	千円	336	336	354	460
	財源内訳	国・府支出金	千円	18,637	15,872	36,982	17,755
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(認定農業者制度事務交付金)	千円	85			50
		一般財源	千円	14,660	13,072	38,689	13,213
12	人件費 (b)	千円	20,500	20,500	20,500	20,250	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	53,882	49,444	96,171	51,268	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	農業担い手支援事業	シート番号	15-38
-------	-----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>14 認定農業者については、更新時期を迎える方について大阪府やJAと協力し制度の説明を丁寧に行い再更新を行った。また、大阪府やJAと農業者の情報を交換・共有することにより認定が必要な方への制度説明を行い、新規に認定を行うことができた。新規就農相談窓口には34名が来られた。農業技術の習得状況などにより研修先や農地の貸借の手続きを説明した。8月に農業委員会と協力し農地マッチングを行い、8名の方が就農に至った。</p>							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		認定農業者数	人	目標値	280	119	120	121
				実績値	253	124	125	
				達成率	90%	104%	104%	
	評価			普通	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		堺市農業振興ビジョン					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		新規就農者数	人	目標値	5	7	7	7
				実績値	4	8	8	
				達成率	80%	114%	114%	
	評価			普通	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		堺市農業振興ビジョン 7人/1年を目標とする。					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	認定農業者数や新規就農者数は目標を達成することができた。 認定農業者数については、担い手が高齢するなか関係機関と協力し新規確保や制度のPRIに努めた結果、目標を達成することができた。 新規就農者数については、相談窓口における支援を十分に行い、農地マッチングがうまく進んだことにより、目標を達成することができたと考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。